

G1-2026-

化 学

専門(記述式)試験問題

注 意 事 項

1. 解答時間は **1 時間**です。
2. 答案用紙の記入について
 - (ア) 答案は濃くはっきり書き、書き損じた場合は、解答の内容がはっきり分かるように訂正してください。
 - (イ) 表側の各欄にそれぞれ必要事項を記入してください。
 - (ウ) 書ききれない場合は、裏面を使用してください。
 - (エ) 試験の公正を害するおそれがありますので、答案用紙の切取線より下の部分に氏名その他解答と関係のない事項を記載しないでください。
3. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
4. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
5. 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	試験の区分	受験番号	氏 名
	化 学		

指示があるまで中を開いてはいけません。

2025 年のノーベル化学賞は、「金属有機構造体の開発」に対して北川進氏ら 3 氏に授与された。金属有機構造体は、炭素を含む分子と金属イオンから成る物質を組み合わせ、穴の大きさを自由に変えることが可能であり、環境中の医薬品残留物の分解や二酸化炭素の捕捉等を可能とし、環境問題等の解決に貢献すると期待されている。

- (1) 高機能材料(金属有機構造体等)を環境問題の解決のために実用化するに当たり、支障となる事項について説明せよ。
- (2) (1)で挙げた課題を解決するために、行政が取り組める事項について説明せよ。